

CTRソフトウェアを使用して

繰り返し報告書作成に便利な機能

2019年02月04日

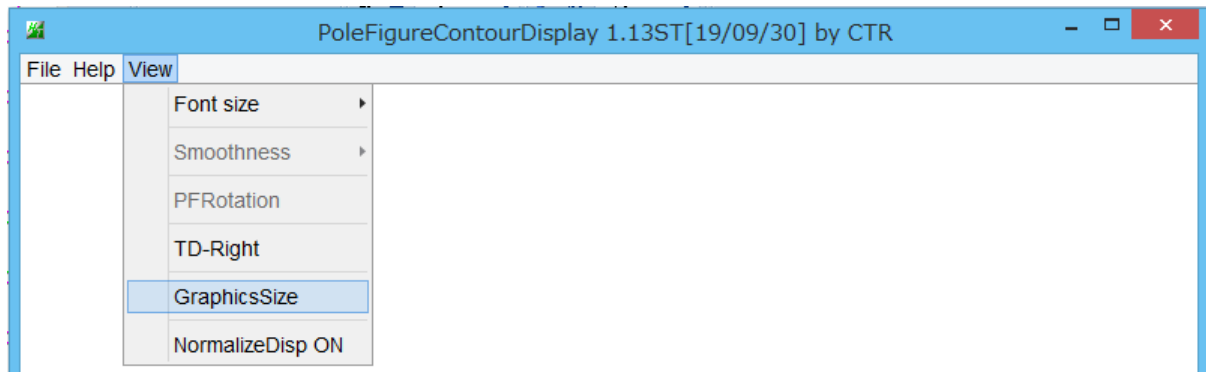
HelperTex Office

1. 概要

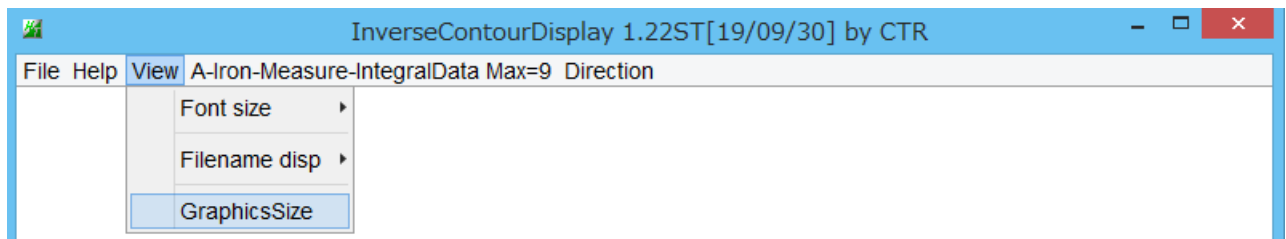
報告書に画面を張り付ける為、画面のサイズを同一に、同一の機能を繰り返し使用するなどの面倒な事がありますが、CTRソフトウェアではODF図、極点図、逆極点図に工夫されています。画面は縮小拡大は自由に出来ますが、GraphicSize機能で起動時のサイズを変更固定できます。

2. 画面サイズと常に同一サイズにする。

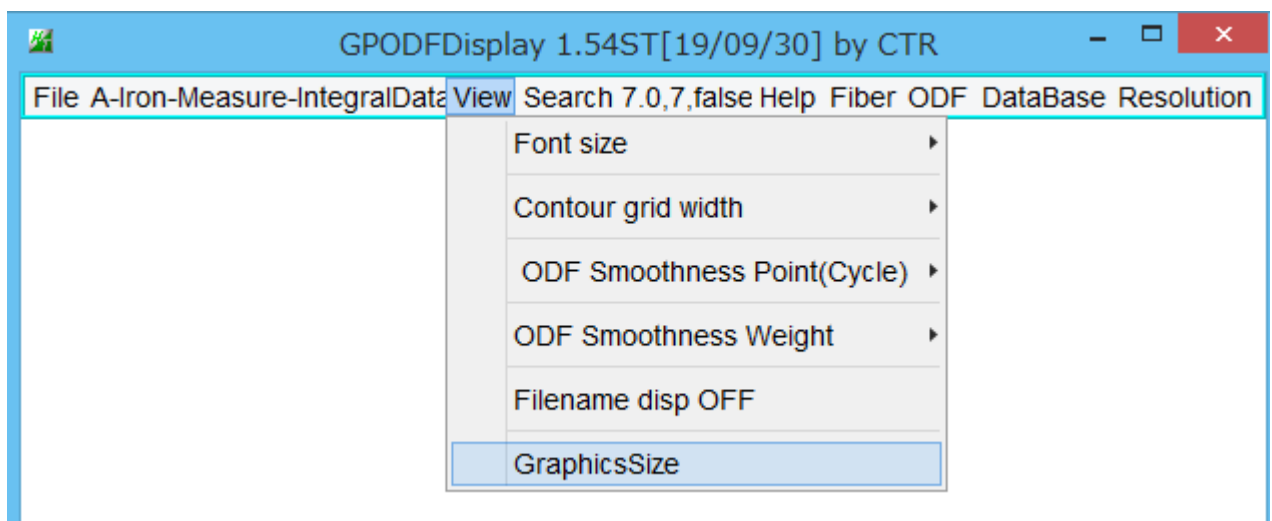
極点図



逆極点図

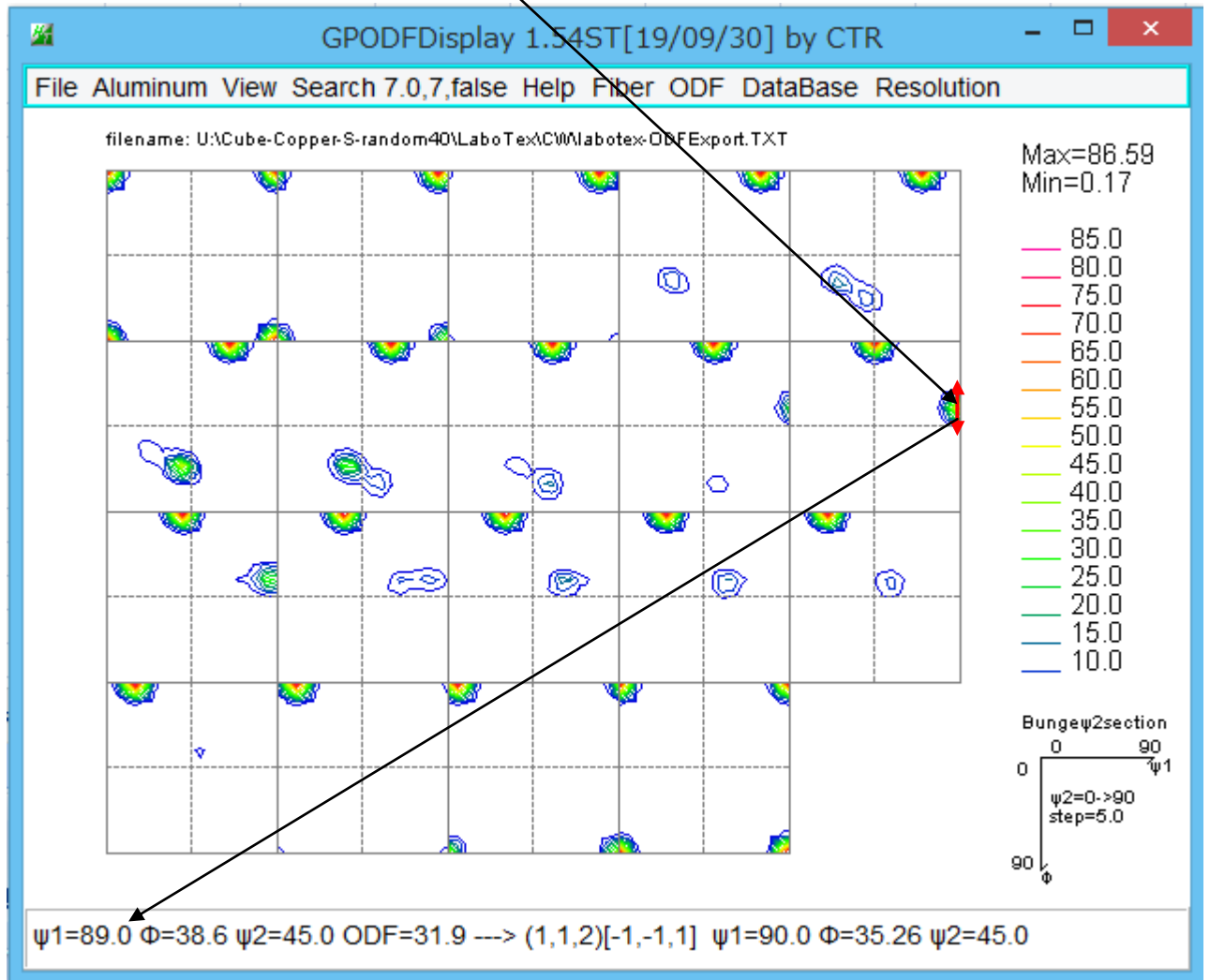


ODF図

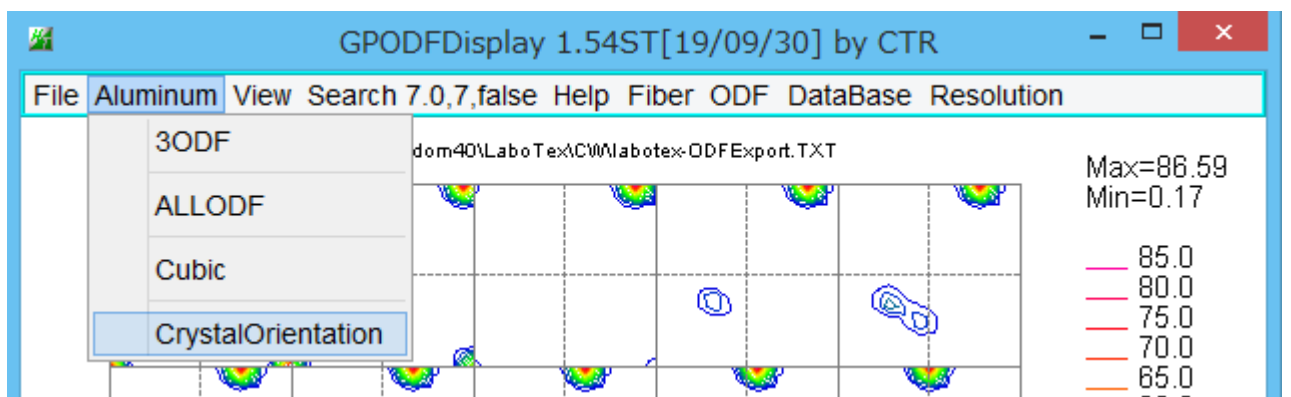


3. ODF 図の結晶方位位置の固定値を得る

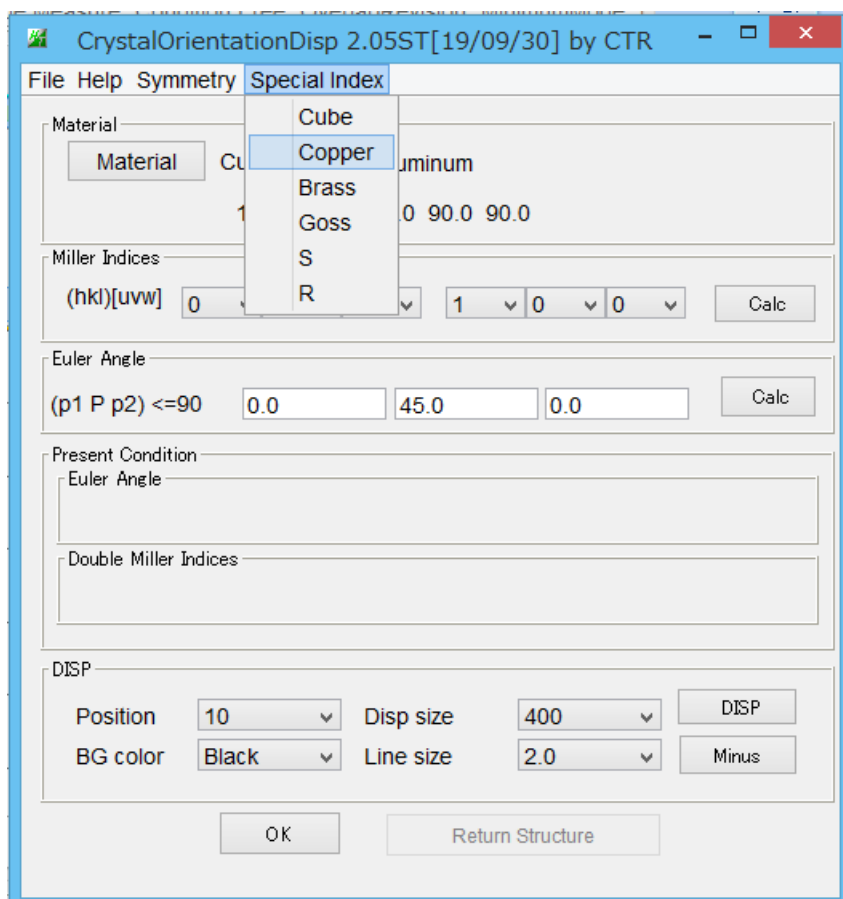
PGODFDisplay は、マウスカーソル位置をリアルタイムで方位密度と $\{hkl\}\langle uvw \rangle$ を表示するが、繰り返し同一な $\{hkl\}\langle uvw \rangle$ の値を表示させる。



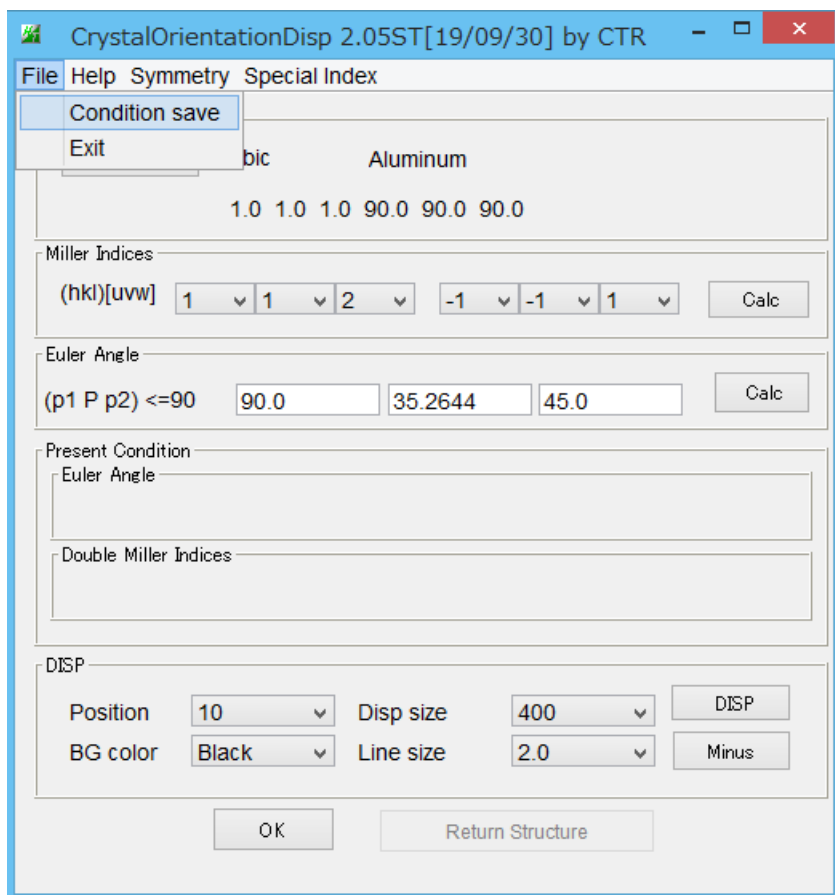
常に copper 位置を表示させるのは、CrystalOrientation で euler 角度を決定して表示



Copper を選択



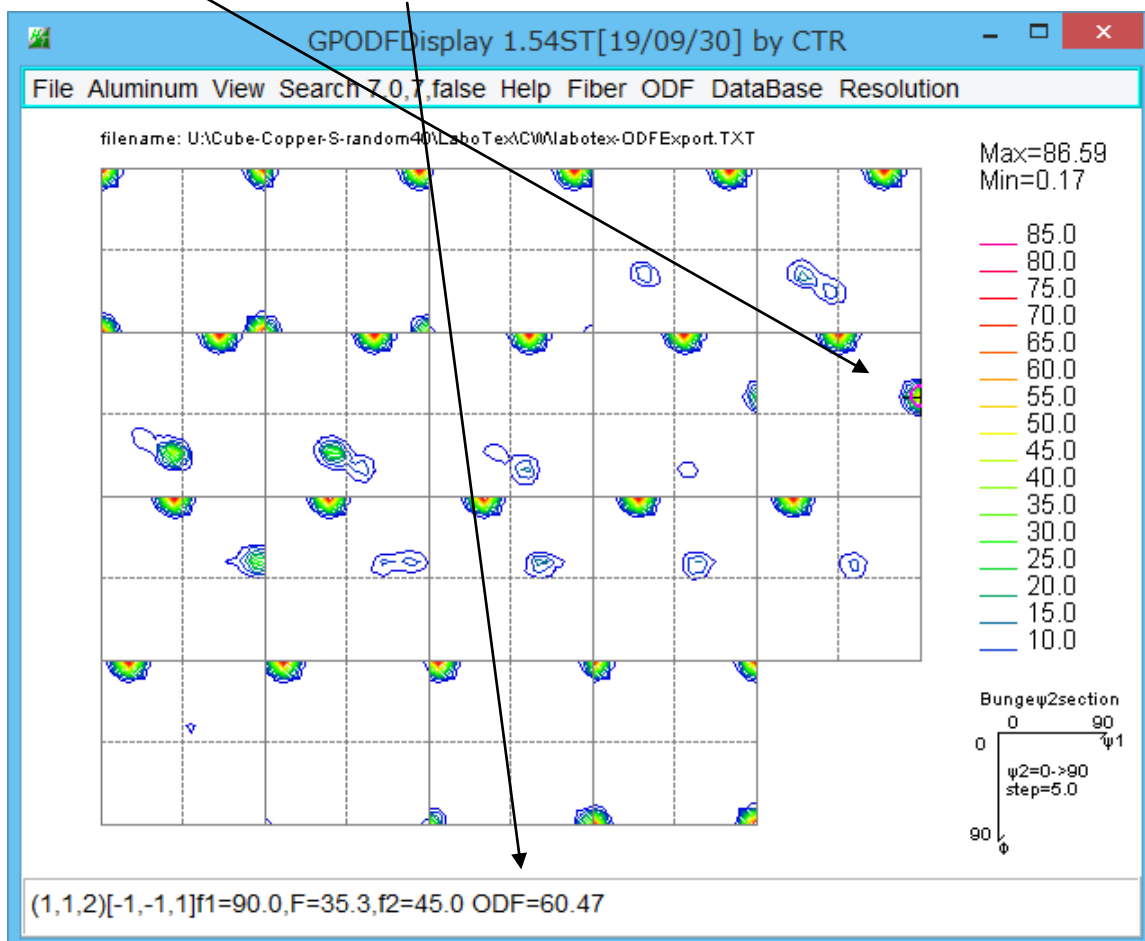
表示画面を s a v e します。



次回から、常に同一画面が表示されます。

D I S P → R e t u r n S t r u c t u r e で O D F 図に結果を表示させる。

選択された copper 位置と方位密度



逆極点図

マウスクリック位置は黒の+、 決定された方位角度位置は赤の+

